

レクイエム 対訳

入祭唱 (Introitus)

Requiem aeternam dona eis, Domine,
et lux perpetua luceat eis.
Te decet hymnus, Deus, in Sion,
et tibi reddetur votum in Jerusalem.
Exaudi orationem meam,
ad te omnis caro veniet.

永遠の平安を彼らに与え給え、主よ、
永遠の光が彼らに照らされんことを。
神よ、讃美歌はシオンにて汝を飾り、
誓いはエルサレムにて汝に果たされるだろう
私の祈りを聞き給え、
汝の傍らに全ての肉体は来るだろう。

キリエ (Kyrie)

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

主よ、憐れみたまえ。
キリストよ、憐れみたまえ。
主よ、憐れみたまえ。

続唱 (Sequentia)

Dies irae, dies illa
solvat saeculum in favilla:
teste David cum Sibylla

怒りの日、その日に
世を破壊し灰にするだろう
証言者ダヴィデとシビラの言う通り。

Quantus tremor est futurus,
quando iudex est venturus,
cuncta stricte discussurus.

来るべき恐怖はどれほどであろう、
審判者がやって来て
全てを厳しく打ち砕くであろう時の。

Tuba mirum spargens sonum
per sepulchra regionum,
coget omnes ante thronum.

ラッパは不思議な音を
国々の墓の上に響き渡らせ
皆を玉座の前に集めるだろう。

Mors stupebit et natura,
cum resurget creatura,
judicanti responsura

死と自然は驚くであろう、
被造物が復活して
裁き手に答えようとするだろう時。

Liber scriptus proferetur,
in quo totum continetur,
unde mundus iudicetur.

書かれた書物は差し出されるだろう、
その中に全ての事が書き記されている、
それによって世は裁かれるべし。

Judex ergo cum sedebit,
quidquid latet, apparebit:
Nil inultum remanebit.

故に審判者が座につく時、
隠れている全てが明らかになるだろう、
罰せられない者は決して残らないだろう。

Quid sum miser tunc dicturus?
Quem patronum rogaturus?
Cum vix justus sit securus.

その時哀れな私は何を言おうか？
どんな弁護人を頼もうか？
正しい者ですら、ほとんど心安らかではない時。

Rex tremendae majestatis,
qui salvandos salvas gratis,
salva me, fons pietatis.

恐るべき威厳の王よ、
救われるべき者たちを慈悲で救う(王よ)、
私を救い給え、哀れみの泉よ。

Recordare Jesu pie,
quod sum causa tuae viae:
ne me perdas illa die.

覚え給え、慈悲深きイエスよ、
汝の降臨の理由は私であることを。
その日に私を滅ぼさないでください。

Quaerens me, sedisti lassus
Redemisti crucem passus
Tantus labor non sit cassus.

私を捜し求めて疲れた汝は座られた。
汝は十字架で苦しみを受け贖われた。
かくも大きな努力が空しくならないように。

Juste judex ultionis,
donum fac remissionis,
ante diem rationis.

刑罰の公正な審判者よ、
許しの恩寵をなし給え、
裁きの日より前に。

Ingemisco, tamquam reus:
culpa rubet vultus meus:
supplicanti parce Deus.

私はあたかも罪に問われたかのごとく嘆く。
罪により私の顔は赤面する。
嘆願する者を惜しみ給え、神よ。

Qui Mariam absolvisti,
et latronem exaudisti,
mihi quoque spem dedisti,

主はマグダラのマリアを許し、
そして盗賊(の願い)を聞き届け、
私にもまた希望を与え給うた。

Preces meae non sunt dignae:
Sed tu bonus fac benigne,
Ne perenni cremer igne.

私の願いは価値あるものではない。
しかし善良なる汝、寛大にし給え、
永遠の火によって私が焼き尽くされないように

Inter oves locum praesta,
et ab haedis me sequestra,
statuens in parte dextra.

羊たちの中に場所を授け給え、
そして山羊たちから私を分かち給え、
(汝の)右側の場所を定めて。

Confutatis maledictis,
flammis acribus addictis,
voca me cum benedictis.

汝は呪われた者たちを斥け
苛烈な火に落とし給う。
私を、祝された者たちと共に呼び給え。

Oro supplex et acclinis,
cor contritum quasi cinis:
gere curam mei finis.

私は膝を屈し身をかがめて願う、
心は灰のように砕かれて。
私の終末の管理を司り給え。

Lacrimosa dies illa,
qua resurget ex favilla
judicandus homo reus:

涙多きその日、
灰から復活するだろう、
罪あって裁かれるべき人が。

Huic ergo parce Deus.
pie Jesu Domine,
Dona eis requiem. Amen.

故に、ここに惜しみ給え、神よ、
慈悲深い主イエスよ、
彼らに平安を与え給え。アーメン。

※フォーレやデュルフレのレクイエムにある「Pie Jesu」はこの末尾2行である。

奉献唱 (Offertorium)

Domine Jesu Christe, Rex gloriae,
libera animas
omnium fidelium defunctorum
de poenis inferni, et de profundo lacu;
libera eas de ore leonis,
ne absorbeat eas tartarus,
ne cadant in obscurum.

Sed signifer Sanctus Michael
repraesentet eas in lucem sanctam,
quam olim Abrahae promisisti
et semini ejus.

Hostias et preces tibi, Domine,
laudis offerimus.
Tu suscipe pro animabus illis,
quarum hodie memoriam facimus.
Fac eas, Domine,
de morte transire ad vitam,
quam olim Abrahae promisisti
et semini ejus.

主イエス・キリストよ、栄光の王よ、
解き放ち給え、
全ての死んだ信者の魂たちを、
地獄の罰から、そして深い淵から、
解き放ち給え、獅子の口から。
(魂たちを)地獄が飲み込まないように、
(魂たちが)暗黒に落ちないように。

しかし、(天軍の)旗手、聖ミカエルが
(魂たちを)聖なる光へと導かれんことを。
(その光を)かつて汝はアブラハムと
その子孫に約束されたのです。

犠牲と賛美の祈りを、主よ汝に、
我々は捧げる。
その魂たちのために、汝は受け給え、
(魂たちのために)今日、我々が行う記念を。
主よ、魂たちを、
死から生へと移させ給え。
(その生を)かつて汝はアブラハムと
その子孫に約束されたのです。

サントゥス (Sanctus)

Sanctus, sanctus, sanctus,
dominus deus sabaoth.
Pleni sunt coeli et terra gloria tua.
Hosanna in excelsis.

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、
万軍の主なる神よ。
天と地は、あなたの栄光で満ちている。
天の高きところに、ホサナ。

Benedictus qui venit in nomine domini.
Hosanna in excelsis.

主の名のもとに来たる人は祝福されよ。
天の高きところに、ホサナ。

アニュス・デイ (Agnus Dei)

Agnus dei, qui tollis peccata mundi
dona eis requiem.
Agnus dei, qui tollis peccata mundi
dona eis requiem.
Agnus dei, qui tollis peccata mundi
dona eis requiem sempiternam.

世の罪を取り除き給う神の子羊よ、
彼らに平安を与え給え。
世の罪を取り除き給う神の子羊よ、
彼らに平安を与え給え。
世の罪を取り除き給う神の子羊よ、
彼らに永遠の平安を与え給え。

聖体拝領唱 (Communio)

Lux aeterna luceat eis, Domine:
Cum Sanctis tuis in aeternum,
quia pius es.

主よ、永遠の光は彼らに輝く、
汝の聖者たちと共に永遠のうちに、
汝が慈悲深い故に。

Requiem aeternam dona eis, Domine,
et lux perpetua luceat eis.
Cum Sanctis tuis in aeternum,
quia pius es.

永遠の平安を彼らに与え給え、主よ、
永遠の光が彼らに照られんことを。
汝の聖者たちと共に永遠のうちに、
汝が慈悲深い故に。

赦祷文 (Responsorium)

Libera me, Domine, de morte aeterna,
in die illa tremenda,
quando coeli movendi sunt et terra,
dum veneris judicare saeculum per ignem.

主よ、私を永遠の死から解放し給え、
その恐ろしい日に、
天と地が揺り動かされるその時、
汝が火を以てこの世を裁きに来る時。

Tremens factus sum ego et timeo,
dum discussio venerit atque ventura ira.

私は震えさせられ、そして怖れる、
判決と起こるべき怒りが来る時。

Dies illa, dies irae
calamitatis et miseriae,
dies magna et amara valde.

その日、怒りの日、
禍いと不幸の(日)
大いなる、そして非常に苦しい日。

Requiem aeternam dona eis, Domine,
et lux perpetua luceat eis.

永遠の平安を彼らに与え給え、主よ、
永遠の光が彼らに照らされんことを。

楽園歌 (In Paradisum)

※この歌での「汝」は「死者」を指す

In Paradisum deducant te Angeli;
in tuo adventu
 suscipiant te martyres
et perducant te
 in civitatem sanctam Jerusalem.
Chorus Angelorum te suscipiat,
et cum Lazaro quondam paupere,
aeternam habeas requiem.

あなたを天使たちが楽園へ導きますように。
あなたの到着の際、
殉教者たちがあなたを迎えますように。
そしてあなたを導きますように、
 聖なる都市エルサレムへ。
天使たちの合唱隊があなたを迎えますように。
そして、かつては貧しかったラザロと共に
あなたが、永遠の平安を保ちますように。

©Kenich Yamagishi